

2023年5月12日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ブ イ ・ テ ク ノ ロ ジ ー
 代 表 者 代表取締役 兼 社長執行役員 杉本 重人
 (コード番号：7717 東証プライム市場)
 問 合 せ 先 社長室 IR グループ長 吉村 省吾
 (TEL：045-338-1980)

業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年11月10日公表の2023年3月期の業績予想と実績値との差異について、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想との差異

(1) 2023年3月期通期(2022年4月1日～2023年3月31日)と実績値との比較

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	44,000	700	1,500	1,200	124円10銭
今回実績値 (B)	43,146	986	1,700	260	26円92銭
増減額 (B-A)	△854	286	200	△940	—
増減率 (%)	△1.9%	40.9%	13.3%	△78.3%	—
(ご参考)前期実績	51,418	5,461	5,868	4,198	434円21銭

(2) 差異の理由

売上については、半導体・フォトマスク装置事業において、顧客都合による装置搬入の延伸等の影響により、予想に対し微減となりました。

利益については、売上及び製品ミックスの変化や為替差益等の影響から、営業利益、経常利益は計画比で増加しました。しかし、当期利益については、有機ELディスプレイ用の蒸着マスク事業を行う子会社である、株式会社ブイ・イー・ティーが保有する固定資産について減損処理*を行ったため、予想比で大幅に減少しております。尚、配当予想について変更はございません。

2. 今後について

半導体・フォトマスク装置事業においては、短期的には顧客の生産計画の変更等の影響を受けるものの、中長期の装置需要の成長は続く見込まれ、当社グループは、当分野での技術開発や新事業の立上げ等の取組施策を継続いたします。また、有機ELを用いた高精細なディスプレイに対する需要は、スマートフォン等からノートパソコンや車載用途へ広がりを見せています。ブイ・イー・ティーを拠点に引き続き蒸着マスク技術の開発を継続すると同時に、グループの成長に向けた各種施策を確実に遂行し、業績の回復に努めてまいります。

*詳細については、は本日発表いたしました「特別損失(減損損失)の計上に関するお知らせ」をご参考ください。

以上

※上記の見通し・予想など将来事象等につきましては、本資料発表現在、当社が入手可能な情報に基づいて作成しております。さまざまな不確定要素が内在されており、実際の業績は種々の要素により業績予想とは異なる場合があることをご承知おきください。